

経費区分別支出一覧表

経費区分 要請陳情等活動費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
2/2	宿泊費(2/2~2/3、1泊 アパホテル 銀座宝町)	13,490	その他	13,100
3/16	宿泊費(3/14~3/16、2泊 都市センターホテル)	30,000	その他	26,200
A. 小計				39,300
B. 支払証明書計				
要請陳情等活動費 充当合計				39,300

充当割合：政務活動のみ全額充当

要請陳情等活動費

2024/02/02~2024/02/03

衆議院会館（第二会館）にて要請活動

宿泊費（1泊）

衆議院会館打合せ  
領収書 兼 利用明細書

座波一様

領収金額			¥13,490
宿泊代			¥13,390
**宿泊税			¥100
小計			¥13,490
10%対象	¥13,390	内消費税	¥1,217
宿泊税	¥100		
合計			¥13,490
		** 非課税対象	
現金			¥13,490

部屋番号：508  
宿泊期間：2024/02/02 - 2024/02/03

アバホテル（銀座 宝町）  
TEL 03-5524-3911

アバホテル株式会社

登録番号：T4010401043403  
取引番号：020001P020216201 2024/02/02 14:34  
・本領収書は再発行できません。

甲地方（東京都等大都市）1泊あたり上限 13,100

充当 13,100円

要請陳情等活動費



APA HOTELS & RESORTS

## 宿泊証明書

2024年3月20日 (水)

下記のとおりアパホテル〈銀座 宝町〉に宿泊したことを証明致します。

### 記

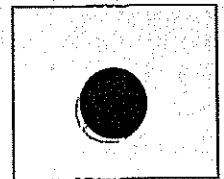
ご到着日: 2024年2月2日 (金)  
ご出発日: 2024年2月3日 (土)  
ご滞在泊数: 1泊  
代表者名: 座波一様  
ご宿泊人数: 1名

アパホテル〈銀座宝町〉

〒104-0031 東京都中央区京橋3-11-2

TEL03-5524-3911 FAX03-5524-3912

宿泊施設印



担当印

## 要請陳情等報告書

経費区分				
年月日	令和6年2月2日～2月3日			
場所	東京都 衆議院会館（第二）			
相手方	国交副大臣 衆議院議員 國場幸之助			
目的	南城市内知念半島の国直轄バイパス事業の要請前打合せ			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	2月3日(土)	11:00	衆議院第二会館	国直轄事業化要請の説明
内容	南城市知念半島は県事業の南部東道路の延伸計画が進まず、国道331号線の海岸線道路しかないため、交通の不便性があり、近年若者の定着率も悪く過疎化が進み沖縄本島中南部で唯一過疎地域として指定され、更に海拔5m以下の値域に1万人以上が住んでおり、災害時の高台への避難道の確保が切望されていたため、能登半島災害を教訓に半島防災の観点から知念と佐敷地域をバイパス化することで解決するための計画を説明し要請前の打合せを行った			
成果及び所見	上記の内容でこの事業の必要性を国交副大臣の國場衆議院議員理解していただくことで今後の要請活動を行う環境を整えることができた。			
備考				



充当割合：政務活動のみ全額充当

要請陳情等活動費

2024/03/14~2024/03/16

国交省、衆議院会館、財務省、内閣府沖縄振興局

宿泊費（2泊）

## RIHGA ROYAL HOTELS

ご請求明細書

都市センターホテル

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1

TEL:03(3265)8211 FAX:03(3262)1705

事業者番号:T3010001034480

お名前 サルハジメ 様

お部屋番号 1634 ご人数 1

ご到着 2024/03/14 ご出発 2024/03/16

日付	ご明細	部屋番号	料金
03/14	お預かり金	1634	30,000
	◇御宿泊料		15,000
03/15	◇御宿泊料	1634	15,000

### 領収証

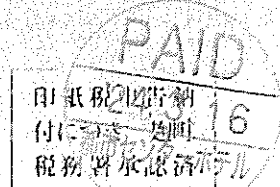
2024/03/16  
031602115634

お名前 サルハジメ 様

金額 ¥30,000-

但し ご宿泊代金他として

上記金額正に領収致しました。



Toshi Center Hotel Tokyo

甲地方（東京都等大都市）1泊あたり上限 13,100

13,100×2=26,200

充当 26,200円



2024年3月16日(土)

## 宿泊証明書

この度は、ご宿泊いただきまして誠にありがとうございます。

以下のとおり、ご宿泊くださいましたことを証明いたします。

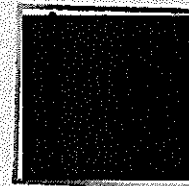
ご宿泊日 2024年 3月 14日(木) より2泊

ご宿泊者名 ザハ ハジメ 様

宿泊施設 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1

都市センターホテル

宿泊・料飲課



要請・陳情等活動記録簿

年月日	令和6年3月14日、15日			
要請先	国交省、衆議院会館、財務省、内閣府沖縄振興局			
対応者	國場国交副大臣、国交省道路局長、金城泰邦衆議院議員、進藤財務省政務官、望月沖縄振興局長			
参加者	南城市長古謝景春、南城市総務部長泉直人、南城市産業建設部長玉那覇勲 企画部長玉城勉 県議会議員座波一			
要請等の趣旨	南城市の知念半島の国道331号線のバイパス化に向けた要請			
日程・内容	月日(曜日)	時間	要請先等	内容
	3月14日(木)	16:40	東京着	移動日
	3月15日(金)	10:50	丹羽国交省道路局長	知念半島バイパス事業要請
		12:30	金城泰邦衆議院議員	知念半島バイパス事業要請
		13:00	國場国交副大臣	知念半島バイパス事業要請
		13:30	進藤財務大臣政務官	知念半島バイパス事業要請
		16:00	望月内閣府沖縄振興局長	知念半島バイパス事業要請
南城市の知念半島は国道331号線の海岸線道路が唯一の幹線道路のため津波等の災害時の避難道路がなく生活道路として不便なため若者の流出が止まらず過疎地域に指定されている。そのため知念半島の災害対策と地域活性化のために半島を横断するバイパス道路と南部東道路の延伸が南城市民から切望されていたため、県選出の国会議員の理解を頂き国交省、沖縄振興局、財務省に南城市長、建設部長、総務部長とともに要請を行った。				
成果及び所見	県事業の南部東道路の知念半島方面への延伸計画が進捗してないため国直轄事業によるバイパス構想を事業化することで同半島周辺に住む市民の非難道の確保と同地域の活性化が期待できることを説明し要請先で理解をもらうことが出来た。国交省及び沖縄振興局もその必要性を理解したうえで要請を受けており、今度とも要請活動を続けながら南城市民及び近隣市町村と連携を図り実現に向けて盛り上げる必要があると考えられる。			
備考				



東京出張(国道331号バイパス化に関する要請)

～ 行程表 ～

日数	月日	時間	所用(分)	日程	備考
1 日目	3/14 (木)	17:55 ~ 20:15	140	移動:那覇空港～羽田空港	往路便:JAL916便
		20:30 ~ 21:10	40	移動:羽田空港第1ターミナル～赤坂見附	電車
		21:20		ホテルチェックイン	宿泊:東急プレッソイン赤坂 ☎03-5562-0077
	3/15 (金)	10:50 ~ 11:05	15	訪問:丹羽克彦国土交通省道路局長	国土交通省道路局長室
		12:30 ~ 12:40	10	訪問:金城泰邦衆議院議員	衆議院議員会館
		13:00 ~ 13:15	15	訪問:國場幸之助国土交通副大臣	国土交通省副大臣室
		13:30 ~ 13:45	15	訪問:進藤金日子財務大臣政務官	財務省大臣政務官室
		16:00 ~ 16:15	15	訪問:望月明雄内閣府沖縄振興局長	内閣府
3 日目	3/16 (土)	9:20 ~ 10:00	40	移動:赤坂見附～羽田空港第1ターミナル	電車
		11:00 ~ 13:45	165	移動:羽田空港～那覇空港	復路便:JAL987便



沖縄県知念半島地域の命と暮らしを守る  
国道331号バイパスに関する要望書

令和6年3月

沖縄県南城市

令和6年3月15日

国土交通大臣  
齊藤鉄夫殿

南城市長 古謝景春



沖縄県知念半島地域の命と暮らしを守る  
国道331号バイパスに関する要望

貴職におかれましては、沖縄県及び南城市の振興発展のために多大な御尽力と格別なる御高配を賜り、敬意を表するとともに衷心より深く感謝申し上げます。

さて、知念半島は沖縄県南部東岸に位置し、中城湾に突出した半島で世界文化遺産である「斎場御嶽（せーふあうたき）」をはじめとする深い歴史を刻んだ「グスク」などの貴重な歴史・文化史跡が数多く存在します。海岸線には、あざまサンサンビーチ、知念岬公園など美しい海岸景観を持つ県内有数の観光地が点在しています。

一方、知念半島は那覇市から半径15キロメートル圏内という好位置にありながら、国道331号以外に幹線道路がなく、半島を大回りする不便な遠隔地とされています。移動の時間的ロスや観光振興や地場産業の発展に大きく影響を及ぼし、就労人口の流出が止まらず、令和4年には当該地域（旧知念村地域）が過疎に指定されるなど、地域振興の大きな障害となっています。

また地形的な要因から人口の約3割（約1万4千人）の市民が知念半島を通る国道331号沿線の標高10m以下の海岸低地で生活しており、高台や避難施設へのアクセス道路がない地域が多く、昨今の激甚化・頻発化する気象災害や津波等の大規模災害時に対応する避難道路建設が求められています。

島嶼県である沖縄県において道路は、経済活動や命と暮らし、生活を守り、支える最も重要な社会インフラであります。昭和47年以降、五次にわたる沖縄振興計画によって那覇空港自動車道等の道路インフラの整備が進められてきました。しかし、その殆どは那覇市とその周辺及び中北部を結ぶ西海岸を中心に展開され、残念ながら現状において知念半島地域は、広域道路（ハシゴ道路）ネットワークとしての計画路線は殆どなく、国直轄事業も行われていない現状があります。

知念半島地域は、国道331号を含めた広域道路ネットワークが形成されていない空白地域であることから、激甚化する災害対応（半島防災）や移動時間による東西間での生活環境の格差が顕著となっています。

つきましては、これらの状況を踏まえ、県土の均衡ある発展を図るため、次の諸点について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

一、知念半島地域の国道バイパス（直轄国道）を事業化し、早期実現に向けて取り組むこと